

みえスマート林業推進協議会が目指す姿

【国の目標】

2028年までにスマート林業をほぼすべての意欲と能力のある
林業経営者に定着させる （令和元年11月 未来投資会議関係会合資料）

その先に何を求めるのか？

- ・スマート技術を活用することで、林業の仕事をもっと楽に、効率的に！
- ・生産性向上により、他産業と同等の収入を得られる産業へ！
- ・林業が魅力的な産業として、若者から選ばれる職場へ！
- ・外材に負けない木材の安定供給体制を構築！

三重県にスマート林業を浸透していくには

【課題】

- 令和元年度から航空レーザ測量を実施し森林クラウドに成果を搭載
 - ※令和3年度末で15万5千haを測量(民有林の約44%)
 - ⇒森林クラウドの加入状況は7市町7事業者
 - ⇒具体的にどう業務に活用すればいいかわからない
- 国や県の補助事業を活用してスマート機器を導入
 - ⇒導入した事業者以外は、使い勝手や効果を知ることができない
 - ⇒現場での活用事例に関する情報が不足している
- スマート林業に関する技術やサービスは日々更新される
 - ⇒どの技術やサービスを選べばいいかわからない

三重県にスマート林業を浸透していくには

【対応策】

- 航空レーザ測量の成果について、林業事業者、市町、大学等が連携しながら、それぞれのニーズに合致した具体的な活用方法について検討・実証し、その成果を共有
- 国や県の補助事業を活用して導入したスマート機器等の使い勝手や導入効果は広く共有し、林業関係者共通の知識へ
- 具体的な実践例を学ぶための研修会等を開催
- 事業者のニーズにマッチしたスマート技術を選択できるよう、先進事例や他県の情報なども収集し、関係者で共有

みえスマート林業推進協議会

【設置目的】

スマート林業に関する技術や効果など、先進的な知識を県内の林業関係者間で共有し、広く普及することで、林業イノベーションを加速化し、林業の安全性や生産性の向上、木材供給力の強化を通じて、本県林業・木材産業のグリーン成長を実現することを目的とする。

○協議会（親会）

親会は協議会の方針決定や研修会の開催など
情報共有の場に

構成メンバー

- 林業関係団体、認定事業体等
- 木材関係団体、製材・合板・チップ製造事業者等
- 木材流通事業者：原木市場、製品市場、プレカット工場等
- 木材消費者：工務店、ハウスメーカー等
- 官公庁：三重県、市町、国機関
- 学識経験：国立大学法人
- アドバイザー：スマート林業関連企業、コンサルタント

親会の下に目的に応じた部会を設置し、各テーマごとにスマート化に向けた取り組みを推進

連携・情報共有

○協議会（部会） 設置案

ICT施業推進部会

(テーマ)
航空レーザ測量
GNSS、地上レーザ測量
施業プラン

森林整備事業スマート化 推進部会

(テーマ)
補助金申請・検査の
スマート化

労働安全部会

(テーマ)
LPWAN通信
緊急時の救助体制